

今回から新しく始まった
巻頭インタビューでは、
実際にエイズケアの
仕事をされている方々へ
お話を伺います。
第1回目は兵庫医科大学病院の
医療ソーシャルワーカー
伊賀陽子さんです。
……..
MASH大阪(以下M)：医療ソーシャルワーカーというのはどんな仕事？
伊賀さん：病気を抱えている人の社会生活を支援するのが仕事です。具体的には医療費の軽減、就労継続の支援、介護のコーディネート、子育て中の患者さんであれば育児支援、転院先の確保、退院時の自宅環境の整備など多岐にわたります。患者さんの思いを共有したり、意思決定に寄り添うといった、メンタルな支援もやります。
M：クライアントはどのような方たち？

伊賀さん：当院のすべての科の患者さんご家族ですが、私はその中でもHIV(エイズウイルス)を持っている患者さん、血友病の患者さん、精神疾患を持つ患者さんを主に担当しています。共通しているのは、病気に対する社会の理解が不足しているので、差別偏見にさらされやすい点ですね。
M：いつ頃からこの仕事を？
伊賀さん：HIV感染症に関しては90年代の半ばくらいからです。
M：HIV感染に話を絞ると、当時と今では患者さんたちのニーズに変化がありますか？
伊賀さん：初診時のニーズとしては受診への不安を軽減するための受診前相談、医療費などの経済的な相談、プライバシーの保護にかかわる相談、この3つで、項目としては当時も今も同じなんです。が、中身は随分変化しています。以前は病気のこと、セクシュアリティのことで医療従事者にも色々いわれるんじゃないか

ないか」など不安を抱えて来られるゲイの方が多かった。診療に至るまでの敷居がすごく高く、医師と二人で病院の玄関まで迎えに行ったりもあります。
M：今では？
伊賀さん：今の時代は多くのNPO、NGOが活動していて、情報がネット上にたくさんあるのので、当院に来られた時点でよく勉強しておられる方が多い。医療費については障がい者手帳交付など福祉制度が整備されていますし、プライバシーの概念も浸透してきているので、それに呼応して相談の内容も非常に具体的にになってきました。
M：仕事とのかかわりについて
伊賀さん：最初期はエイズに生後、多剤併用療法が普及してからは仕事に関する相談が増えた時期がありました。治療法がさらに進歩し、仕事を続けるのがフツーになると、新たなニーズが生まれてきます。仕事や生活

と治療との折り合いをどうつけるか、という風な相談も増えてますが、その一方で、もともとメンタルな部分で不安定なもの、シンドいものを持っていた方たちが出て、その方たちがHIV感染のショックを乗り越え、仕事をしながら長期療養していくなかでそういったメンタルな部分がじんわりと顔を出してくる。HIVに感染することで「人より考えなければならないことが

多くなった」と捉え、HIVだからこそと頑張りすぎてしまう。こうした人たちのさまざまなお悩みを聞き、自分たちもメンタルな部分で不安定なもの、シンドいものを持っていた方たちが出て、その方たちがHIV感染のショックを乗り越え、仕事をしながら長期療養していくなかでそういったメンタルな部分

「偏見と無知は違う！」と各所に働きかけ少しずつ理解を得る事から始まったエイズケアももうすぐ20年。患者自身が医療従事者をどんどん変えていき、当事者が声を上げる事によって生まれた制度だってある。「病気と向きあう患者さんの姿から学ぶべき事は尽きません」と優しく微笑んだ伊賀さんの笑顔が印象的でした。



発行：MASH大阪
〒530-0027 大阪市北区堂山町17-5 巽ビル4F
☎& 06-6361-9300
http://www.mash-osaka.com/
この資料は大阪市のMSM向け
HIV予防啓発広報紙作成事業で制作されました。
冬号の紙面VIEW
2面 老後の来ないゲイはない！
3面 男性エンタメ紀行「glee」
4面 謎解き散歩【ミナミ編】
7面 海外男街通信【シンガポール】



兵庫医科大学病院
住所／〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号 ☎0798-45-6111 【医療社会福祉部 ☎0798-45-6137】
http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/clinic/support/clinical_social_work.html

こちらのHIV検査場はすべて無料・匿名です 大阪府版 (2013年11月15日現在)

12月1日は「世界エイズデー」です。

エイズの知識を深め、HIV検査に行ってみませんか？
以下の検査施設では、無料・匿名でHIV検査を受ける事ができます。
検査日時については各保健所へ直接ご確認ください。
※道順等の詳細についても、各保健所等へ直接お問い合わせください。

マークの説明
● HIV検査と同時にクラミジア及び梅毒の検査も無料で出来る施設です。
★ 即日検査できる施設です。 ※ 通常の検査では一週間、即日検査はその日のうちに結果がわかります。

[大阪市]	
北区保健福祉センター ● 大阪市北区扇町2-1-27 ☎06-6313-9882	平日／9時30分～11時 臨時検査日 11/29(金)／17時～19時
中央区保健福祉センター ● 大阪市中央区久太郎町1-2-27 ☎06-6267-9882	平日／9時30分～11時 臨時検査日 12/13(金)／17時～19時
淀川区保健福祉センター ● 大阪市淀川区十三東2-3-3 ☎06-6308-9882	月曜日／14時～15時30分 火曜日／9時30分～11時 臨時検査日 12/6(金)／17時～19時
chotCASTなんば (大阪検査相談・啓発支援センター) 大阪市浪速区難波中1-6-8 イチエイ総合ビル3F ☎06-6632-0632	火・木曜日／18時～20時(先着50名) 土・日曜日★／14時～16時(先着40名) ※13時30分に整理券配付 臨時検査日 11/27(水)★／18時～19時 11/29(金)★／18時～19時(各先着30名) ※17時30分から整理券を配布
大阪市保健所 大阪市阿倍野区旭町1-2-7-1000(あべのメディックス10階) ☎06-6647-0656	臨時検査日 11/25(月)★／17時30分～19時(先着30名)

[堺市]	
堺保健センター ● 堺市堺区甲斐町東3-2-6 ☎072-238-0123	第2木曜日／9時～11時
中保健センター ● 堺市中区深井沢町2470-7(中区役所内) ☎072-270-8100	第3月曜日／9時～11時
東保健センター ● 堺市東区日置荘原寺町195-1(東区役所内) ☎072-287-8120	第4火曜日／9時～11時
西保健センター ● 堺市西区鳳南町4-444-1(鳳保健文化センター内) ☎072-271-2012	第1金曜日／9時～11時 臨時検査日 12/10(火)／18時～20時
南保健センター ● 堺市南区竹城台1-6-1 ☎072-293-1222	第3水曜日／9時～11時
北保健センター ● 堺市北区新金岡町5-1-4(北区役所内) ☎072-258-6600	第2火曜日／9時～11時
ちぬが丘保健センター ● 堺市堺区協和町3-128-4(健康増進センター内) ☎072-241-6484	第1水曜日／13時30分～15時30分
美原保健センター ● 堺市美原区黒山782-11 ☎072-362-8681	第4木曜日／13時30分～15時30分
堺市保健所 堺市堺区北花田町3-1-15 東洋ビル4F ☎072-222-9933	第2水曜日／18時30分～20時
さかいサンサンサイト ★ 堺市堺区北花田町3-1-15 東洋ビル4F ☎072-222-9933	第1土曜日／10時30分～12時

エイズ、性感染症について、気軽にご相談ください！

HIV陽性とわかって間もない方 ひよっこクラブ HIV陽性とわかって間もない人のためのグループミーティング HIV陽性とわかって間もない人同士が集い、安心できる場所で情報や体験を話し合い聞いたりする事で、これからの生活のより良いスタートにつなげていくプログラムです。 http://www.hiyokkoclub.com/	ゲイ・バイセクシャル男性のHIV陽性者の方 follow 「40代後半からの方」「既婚者の方」を対象にした交流会に参加希望の方を随時受け付けております。少人数で、お互いの経験を話したりしませんか？詳しくは、follow ホームページでもしくは、メールでお問い合わせください。 http://www.follow-web.com/ (40代後半からの交流会) f09@follow-web.com (既婚者の交流会) m2@follow-web.com
HIV検査や性感染症などに不安がある方 community space dista 性感染症について知りたい、相談や心配事がある、そんな方はご相談ください。お話を聞き、一緒に考えるお手伝いをします。電話相談と対面相談を行っています。相談員にはゲイの人もいて安心です。 ☎06-6361-9300 月曜・水曜～日曜／17:00～23:00(火曜・年末年始休) http://www.dista.be/ 大阪市北区堂山町17-5 巽ビル4階	HIV陽性の方、パートナー・家族の方も サポートライン関西 匿名で利用できる電話相談です。かけきた方の番号は表示されません。あなたの疑問や心配ことなどについて、一緒に考えます。スクリーニング検査で陽性となった方にもご利用いただけます。 ☎06-6358-0638 月曜・水曜(祝祭) 19:00～21:00

[南界堂通信 第5号 編集後記]

私事ですが、9月15日に札幌で開かれた「レインボーマーチ」(ファイナル)に初参加しました。あいにくの雨天でしたが、パレード本番は雨も弱まって、何とか無事歩けました。

今回、「LGBT法律家支援ネットワーク」のメンバーで参加しました。全国から弁護士、司法書士等10数名(半分がゲイとかの当事者、半分が支援者という感じ)で、たぶん日本では初の取り組みかもです。

パレード終了後は、「LGBTのための法律家トークショー&法律相談会」と題する企画を開きました(コメンテーターにDQのエムラルダさんと、北大法学部教授の鈴木賢さん)。皆で分担して、「HIVに感染していることを知らずに生でエッチしてしまったけど…?」、「カッパルで家を借りたいけど、大家さんに同居者がいるって言わないといけないの?」、「元恋人から、ゲイだってばらすぞと脅されているけど、どう対処したら?」といったテーマで話して、法律相談も結構入りました(重い話もあり……)。

帰りは台風接近で新千歳空港は大変な状況でしたが、ともかくも楽しかったです～(次は10月の台北です)。 (大畑)

老後の来ないゲイはない！ 第5回

考えておきたい ゲイと医療

中年に至れば、健康診断のたびに、アレが高い、コレが高いと、医者にいろいろ指摘され、薬を飲むことも珍しくありません。老病死は人間の宿命ともいつべきもの。無縁な人はいないでしょうが、ところでゲイなどはどうでしょうか。



パープル・ハンズwebより。画：キャミー

発病時、誰に連絡が行きますか？

会社で、自宅で、路上で、発病はいつどこで始まるかわかりません。

意識があれば、自分で救急車を呼ぶなりして医療につながったあとは、医療者から連絡先を尋ねられるでしょう。その時、誰の名前をあげますか？ ゲイの場合、家族と疎遠の人もいるかもしれません。万一の時を頼める相手が3人いれば、とても心強いのですが……。

発病時、すでに意識がない場合もあります。その時、連絡し

てほしい人の連絡先をどうやって救急隊や医療者に伝えますか？ 日ごろから緊急連絡先カードを財布の中に携帯しておくなどの方法が有効です。また、会社などに提出している緊急連絡先も、定期的に見直したほうがいいでしょう。

発病時の留意点として、なにか持病（HIV陽性やウツなどがよくある例）がある人は、その情報を医療者に伝えたいほうがより適切な医療が受けられるかもしれません。薬の飲み合わせなど。それらも緊急連絡先カードに表示されていると、救急隊の判断材料になります。

緊急連絡先カードは、事故の

際にも役立ちます。パートナーが事故に遭った時、救急隊が携帯電話の履歴をたどって電話をかけてきたものの、パートナーは「家族ではない」ばかりに個人情報保護法の壁に阻まれて情報を受け取れなかった事例があります。また、大事故に巻き込まれ、病院等にパートナーが照会したものの、やはり「家族以外の人」ということで回答を拒まれたケースもあったと聞きます（福知山線事故などでも）。

大事な人があなたと面会できますか？

さて、法的な家族をもたないゲイの場合、病院に同道したり駆けつけたパートナーや親友が、あなたと面会できるか、医者が病状説明を聞くことができるかが問題になります。あなたに意識があれば、あの人を病室に入れてほしい、一緒に説明を聞かせてほしい、と主張できますが、意識がないとか、発作で苦しい場合はそれができません。

パートナーが病院の廊下の長椅

子で待ち続けたまま、医療者からなんの対応もされなかった事例もよくあります。

医療者もいじわるでやっているわけではなく、個人情報保護法で本人情報を第三者に提供することができないからです。

しかし、法には「本人の同意を得ないで個人データを第三者に提供してはならない」とあり、裏返せば本人が同意していれば提供できることになります。そのためには、あらかじめ自分が主張できないときに備えて、その意思を書面で明らかにしておくことが有効です。

たとえば、パートナーや親友などにあらかじめ何らかの権限を与える旨を書面にして、それを相手に与え、いざというとき、意識のないあなたの代わりにその人から示して医療者と交渉してもらおうわけです。ICUの彼と会わせてほしい、病状について私にも説明してほしい。彼もそれを望んでいます。ホラ、この書面を見てください」。

困難時や高齢期も
助け合えるネットワーク

東京のakea（大阪のdistaと同様、厚生労働省がゲイのHIV啓発のために設置したスペース）でこの4年間、「ゲイのためのライフプランニング研究会を開催してきた私たちは、この

川畑センセの
追っかきエイズ

●今回のテーマ

梅 毒

梅毒の流行再燃？

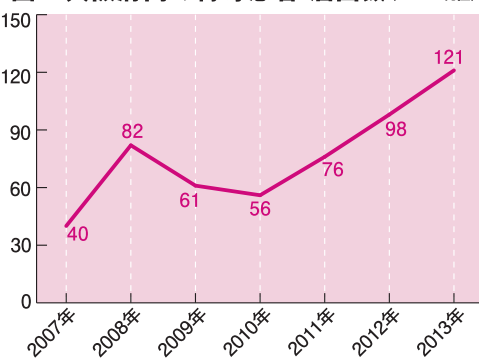
南界堂通信の創刊号で、日本全体での梅毒患者の届出数が1997年以降、増加に転じたとお知らせしましたが、大阪府内の梅毒患者の届出数も近年増加傾向にあります（図1）。

エイズ・性病の検査キャンペーン選べる千円キャンペーンにおいても、梅毒患者の増加傾向が明らかです（表1）。

梅毒はコンドームでは
予防できない？

男性同士の性交の場合、HIV（エイズの原因となるウイルス）は精液や先走り汁に含まれるので、コンドームを装着して

図1 大阪府内の梅毒患者 届出数（10/7現在）



2007年40件だった届出数が、2012年には98件に増加し、今年はずいぶん121件の報告があります

表1「選べる1000円キャンペーン」における梅毒の要治療者数

	実施期間	要治療者数	1カ月平均
2009年	8カ月	5人	0.6人
2010年	8カ月	11人	1.4人
2011年	3カ月	2人	0.7人
2012年	6カ月	13人	2.2人
2013年	2カ月	7人	3.5人

2009年の8カ月間には5人要治療の方が見つかりましたが（平均0.6人/月）、先日終了した2013年の夏のキャンペーンでは2カ月間に7人の要治療の方が検査で見つかり（平均3.5人/月）、梅毒患者の増加傾向が明らか。

文●川畑拓也

大阪府立公衆衛生研究所、主任研究員（医学博士）。性感染症を、感染した本人の自己責任と考えるのではなく、原因となる病原体が公衆衛生で制御できていないことに問題があると考え、日々対策に取り組んでいる。

梅毒の診断と治療法

先に述べたように、梅毒は感染していても無症状な期間が長く続きます。この期間には血液検査でしか、感染を知る手立てはありません。

梅毒に感染していることが早期に分かれれば治療は簡単です。ベニシリン等の抗生物質を梅毒の進行に応じて2週間～8週間程度飲めば治ります。ただ、完全に治癒したかどうかの判定には、服薬終了後も定期的な血液検査（おおむね1年間）が必要のため、病院で薬をもらっても飲みっぱなしにするのではなく、医師の指示に従い定期的に病院を受診して下す。

ワークにも参加してみたい、と思うかたは、パープル・ハンズへのご入会を検討ください。幸甚です。賛助会員の年会費は3千円です。

ところで助け合いといえは、一人暮らしの人が入院することになった場合、治療中の世話や自宅の管理、そしてヘットの世話等について頼める人はいらっしゃいますか？ 緊急連絡先を確認することにも、こうした時の助け合いネットワークを整備していくことは、家族をもたず生活しているゲイには切実な課題ですね。SNSやネット、バーでの源氏名だけのつき合いでは済まないゲイライフが、加齢とともに求められているのだと思います。

文●永易至文

1966年生まれ、行政書士、2級FP、ライター・編集者。著書に『にじ色ライフプランニング入門』（アマゾン他で発売中）ほか。セクマイのお金と法務に強い事務所「東中野さくら行政書士事務所」を開設しました。<http://sakura-gyouseishoshi.com/>

病気に備えて考えておくこと

- 緊急連絡先カード
- 緊急時に面会できる人
- 助け合える3人の仲間



文 ● 山田創平

京都在住の大学教員。専門は地域研究だが、実際には地域研究だ、実際にやっているのは地域のおいしいもの研究（人も食べ物も！）。

絵 ● プブ・ドラ・マドレーヌ

リハビリ中のドラッグクイーン。大阪市東淀川区生まれ。最近バンドを始めました！

『夫婦善哉』に見るミナミの食文化

織田作之助の『夫婦善哉』が世に発表されたのは1940年である。舞台は大正末期から昭和の大阪。1940年は私の両親が生まれた年だから、それほど大昔の話ではない。だがなぜか私のまわりで『夫婦善哉』を明治時代の小説だと思っている人も少なくない。確かに小説には「銭天ぶら」とか「妾」とか「ヤトナ」臨時雇いの芸者」などが出てくるし、織田が描く貧富の格差も、昭和のイメージとはかけ離れているかもしれない。小説では関東大震災が描かれるが、宮崎駿の『風立ちぬ』にも関東大震災のシーンがあった。時代としては同時代を描いている。だが『風立ちぬ』には「純愛」や「戦争」は出てきても「ヤトナ」は出てこない。一方の『夫婦善

哉』には「性病」や「おかま」が出てきても、「戦争」が出てこない。『夫婦善哉』が素晴らしいのは、そこに「浮世離れ」の「現実味」があるからだ。世の中の雑事から離れ、戦争からも離れ、決して将来など考えずに欲望のまま生きた柳吉。そのふわふわした生き方をどこまでも貫くことは、あの戦争の時代において、人が人たり得るほとんど唯一の方法だったのでないか。それは文学の見識である。私はそう思う。だが浮世離れは浮世離れだ。それだけでは物語は通俗的なファンタジーになってしまう。織田が卓越しているのは、食べ物物の強烈な存在感を借りつつ、ファンタジーを読者の日常の物語にしていまうところである。

『夫婦善哉』はほとんど説明書きのようにストーリーを追う小説だ。主人公の柳吉は父親が営む問屋の金をくすねて蝶子と駆け落ちする。東京や熱海をめぐり、大阪へ帰ってきた二人は黒門市場の長屋に住みはじめる。蝶子は頑張って働くが、柳吉は日がな一日昆布を煮ていたりする。蝶子の稼ぎを柳吉は難波新地で使いつづし、挙句「浄瑠璃が習いたい」と言って月謝まで蝶子に工面させる。たまたま転がり込んだ金で二人が飛田におでん屋を出すと流しの「おかま」がやってきて三味線を弾いてゆく。やがて柳吉が売り物の酒に手をつけて商売は傾く。はたまた性感感染症になり、母が新宗教に入信したりするうちに重い腎臓病になり、舶来の高額な薬でさらに困窮する。物語の終盤、

別れ話から蝶子が自殺をはかるが、気づくと二人で仲良く夫婦善哉を食べている。小説はここでぶつりと終わる。

こんな紆余曲折のさなかに、食べ物だけとはかく丁寧に描かれる。出雲屋のまむし、正井丹吾亭のおでん、自由軒のカレー。彼にいわせると、北にはつまいもんを食わせる店がなく、つまいもんは何といっても南に限るそうぞ、それも一流

の店は駄目や……といいつつで登場するのはほとんどミナミの店である。厭世的な小説の中で、食べ物のリアリティが、柳吉・蝶子の存在に強烈な現実味を与えている。

それにしてもこうして柳吉と蝶子の日々をあらためて文章にしてみると、その様子が冗談でなく私の人生と大して変わらないような気がしてくるから不思議だ。ゲイタウンでは、日々『夫

婦善哉』と変わらぬ日常が展開されているように思う。柳吉はアウトローだが、男が好きな男もたぶんアウトローだ。何かと生きにくい現代にあって、ちょっと変わった生き方をする私達の存在は柳吉・蝶子の生き方と重なっていて妙である。今夜も安くてもうまい飯を食いにミナミへ行こう。

おひとりさまの挽歌

ゲイのためのお墓講座 ①

葬儀屋兼石材屋に長くお勤めのアドバイザーの方にお話を伺ってきました。

Q そもそも「お墓」って？



A が死んだ後に遺骨が安置される、と思える場「残された人たちが故人を偲び、対話する場」「祖先とのつながりを感じる場」の三つです。難しいのは、生前の個人の思いと残された人たちの思いとの折り合いをどうつけるか。

また日本の場合、お墓は家や世帯の単位で持ちます。ですからお墓のことを考えるには、「どの宗教に依拠するかもしくは無宗教でやるか」「家の墓に入るか、独立するか」「将来の管理を含め費用をどうするか」この三点が抜かせませんね。

Q ゲイカップルが自分たちのお墓をつくりたいと思ったら？

A 片方が亡くなったときに、残された人が同じお墓に入りたいと思ったら……。私が経験したゲイカップルのケースでは、片方が亡くなった時に、血縁の方が葬儀後の処理をして、残念ながら同じお墓に入ることはできませんでした。これはたとえ遺言があっても難しいと思います。家の墓に他人が入るってこと自体が難しい。

見ることがない。そういう場合だと、そもそもお墓を作らせられないことが多い。お寺さんに事情を話して、「死後のことは全部お任せします」と言って供養なども全部お願いする、ということになります。ですが死後の手続きが必要になります。その手続きをする人がいないと難しい。一般的にその手続をする人というのは家族になります。つまり死後のことやお墓の問題はパートナー二人だけでは解決できないのです。

エイズで亡くなった方が、差別からか家族のお墓に入れず、友人たちでお金を出し合ってお墓を買った、という話を聞いたことがあります。しかし、この場合お墓を誰が継ぐか、という問題が出てきます。

次号へつづく！

「なんとか10年……これからも10年……」



ちょっと寄り道！ 男街 ミナミ編

「30年間、ひとりで、ずっと……！」



知り合いだったマスターのお店を手伝う内に、マスターのバックアップもあり30年前に独立。オープン以来場所を变える事もなくひとりで営業を続けているカズさん(61歳)。

「とにかく時代がよかった……」恩人でもある当時のマスターは今でもお店に顔を出してくれるし、「またやってんだ」と冗談交じりにやってくる馴染みの客もいる。

5年前に大病を患い、それを機に閉店を考えた時期もあったそうだが、「お店は子供のような存在だから」と手放すことが出来なかった。

「いつかはサラリーマンに戻るつもりでいたけれど、この歳になってもうたら、もう何もできへんし、それだったら続けられるだけ続けてみよう」とそう語るマスターの眼差しは、とてもキラキラとしていた。

CREW
客層は40～50代。
営業時間は18時～で、
定休日は日曜日。(月曜日が祝日の場合は営業致します)
住所／大阪市中央区難波4丁目8-7
☎06-6632-0140
http://www.004.upp.so-net.ne.jp/CREW_bar/

ぽかぽか屋
客層は20～60代。
営業時間は20時～翌4時。
定休日は火曜日。
住所／大阪市中央区難波4-3-16 GTタウン 4F
☎06-6633-1152
http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Suzuran/1485/pokapokaya.html

